



平高による平高の話題や魅力を発信するコーナーを新設しました。

令和元年度卒業式を挙行

◆69人が卒業 新たな旅立ち

令和元年度平館高校卒業式は3月1日に行われ、卒業生69人がそれぞれの道へ新たな一歩を踏み出しました。

谷藤節雄校長は式辞で「校訓である開拓者精神のもと、勉学や部活動などを全力でやり抜き、よくやってくれた」と卒業生をたたえ、「社会構造や雇用環境が大きく変わる中、自らの可能性を信じて輝き続けてほしい」と激励。卒業生代表の田村岳社^{がくと}さんは答



野球部の後輩から贈られたボールを手記念撮影をする卒業生

辞で「温かく見守り、支えて頂いた先生方、地域の皆さん、家族に感謝しています。それぞれのステージで、未来を切り開いていきます」と誓いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止を受けて、式典の一部を簡素化して行いましたが、例年同様に凜として心に残る卒業式となりました。卒業生のこれからの活躍を期待しています。

◆卒業生の進路状況

3月20日現在の進路状況は表の通りです。就職内定率は97%、進学決定率は100%です。進学先は、岩手大学や県立大学、県立大学盛岡短期大学部、盛岡医療福祉専門学校などがあります。市内企業への就職者数は23人でした。

進学・就職状況	合格者
大学	9人
短大	4人
専門学校	19人
就職内定者	36人

★平高でがんばったこと
大勢の前で話すことが苦手だった私は、克服したくて生徒会に志願し入会。2年生からは生徒会長に就きました。たくさんの失敗を経験しましたが、以前よりも自信がつかえました。

★平高の好きなところ
友達や先生と気軽に楽しく過ごせるところです。また、普通科の2年生から就職と進学のコースに分かれ、自分が目指すことに対応した授業が受けられるところも魅力だと思います。



田村岳社さん(3年)

※取材当時

★これからの夢や目標
中学校の国語教師になることが夢です。国語は得意分野ですが、さらに知識を身に付けなければと思い、勉強に取り組みました。大学の推薦入試対策では、小論文の書き方など、分からないことが多く何度も壁にぶつかりましたが、先生方の個別指導のおかげで、都留文科大学文学部国文学科(山梨県)に合格することができました。今後も夢の実現に向けて、失敗を恐れずにがんばっていきたいです。



「活気のあるより良い学校にしましょう」と生徒総会で呼び掛ける、田村さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

令和2年度入学式を挙行

◆希望に満ちた笑顔の新入生

4月7日、72年目を迎えた伝統ある本校に53人の新入生が顔をそろえました。緊張した面持ちで座っていましたが、担任から名前を呼ばれると「はいっ!」と大きな返事。体育館内に響きわたりました。谷藤節雄校長は「主体的、継続的に学習することが大切。ボランティア活動や部活動にもエネルギーを注ぎ、真の大切な友人をつくってほしい」と式辞を述べました。新入生を代表し、小澤優奈



新入生代表として宣誓する小澤さん

さんは「努力すること、積極的に取り組むこと、人間性を育むこと」を宣誓。迎える在校生代表は生徒会長の小野寺奈緒子さん(3年)。生徒のあいさつの良さ、地域に支えられる学校、文化祭(紫薫祭)のにぎわい、平高が誇る紫根染の活動、生徒の夢の実現について、胸を張って紹介しました。

新型コロナウイルス感染防止のために、来賓4名、新入生、生徒会長、保護者、職員のみでの出席で行われた入学式は、限られた人数、短い時間でしたが厳かに、かつ温かい雰囲気にも包まれ本高らしいアットホームな式となりました。

新入生の皆さんには、平高で自分の得意を伸ばし、大きく飛躍することを期待しています。



凛とした表情の新入生たち

★平高での学校生活
楽しいです!視野が広がり、さまざまな角度で物事を捉えることができます。また、先生との距離が近くマンツーマンで教えてもらえるので、

★平高に入学したきっかけ
大学に進学するため、当初は盛岡の高校に行こうと考えていましたが、高校を調べるうちに平高に進学コースがあることを知り、地元の高校だと時間にゆとりを持てることや、慣れ親しんだ環境で勉強できると思っ受験しました。

制服も私たちの代から変わり、男女とも爽やかな印象になりました。チャームポイントには伝統である「ムラサキ」をモチーフにした校章です。この校章を胸に平高の伝統を守っていきます。

★平高の魅力
伝統の一つに「ムラサキ」の花を育て、その根で布を染める「紫根染」があります。鮮やかな紫の色合いが美しく、地域の皆さんからも人気があります。

充実したスクーライフが送れます。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



小野寺奈緒子さんと
平高マスコットの平丸



入学式で「一緒に伝統をつくっていきましょう」と思いを語る小野寺さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

新入生が仲間づくりに挑戦

◆「グループワーク」で大盛り上がり！

1年生53人が4月15日、ゲームや協働作業を通してお互いを知る、恒例の「グループワーク」活動をしました。

市内外の複数の中学校の出身者で構成された1年生は、人数が少ないからといって、入学当初からすぐに打ち解けられるというものでもありません。

平高のグループワークでは、立命館大学で学校臨床心理学について研究している大谷哲弘教授の監修の下、教師側が準備したゲームなど



皆で作った絵のタイトルを考え中

を繰り返し行うことで、生徒同士の会話が増えて、交流を深めていきます。

最初は表情が硬かった生徒たちも、グループワークが進むにつれて笑顔が増え、あっという間にお互いの距離が縮まったようでした。

【生徒の感想】▶相手を知ることによってどんな内容の会話をしたらいいか分かり、声を掛けやすくなった▶たくさんおしゃべりすることができたし、新しく友達ができクラスの一員になれた気がした▶本来の自分を少しずつ出せるようになってうれしかった

【先生のコメント】▶生徒の緊張感が解け、表情が穏やかになった▶お互いを知るきっかけとしてはとてもいい



後出しじゃんけんのゲーム

私は将来、理学療法士になりたいと思っています。資格を取れる学校に進学するため、平高では勉強に力を入れています。高校の授業のレベル

★夢に向かって取り組んでいること

★平高に入学したきっかけ
平高の一日体験入学に参加したことがきっかけです。どこの高校に進学しようか悩んでいましたが、体験入学の学校紹介の中で生き生きとした先輩方の姿を見て、私も平高で充実した高校生活を送りたいと思います、受験しました。

私も、理学療法士になりたいと思っています。資格を取れる学校に進学するため、平高では勉強に力を入れています。高校の授業のレベル

★平高での学校生活

とても楽しく、充実した高校生活を送っています。入学してすぐは慣れないことが多く、不安に感じることもありました。優しく丁寧に教えてくれる先生方や先輩方の存在が大きな支えになっています。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！



小澤優奈さん(1年)と
平高マスコットの平丸



平高のグラウンドから見える岩手山と笑顔の小澤さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

地域を盛り上げる野球部であるために

◆令和2年度夏季岩手大会が開幕！！

平高野球部は、令和2年度のチームスローガンとして「強い心を持って」を掲げています。生徒たちは限られた時間に集中して己を鍛え、全員が甲子園出場を目標に努力してきました。

5月、新型コロナウイルス感染症の影響で春の選抜大会に引き続き夏の甲子園大会が中止となりました。生徒たちの目標は断たれてしまいましたが、代替大会の開催が決まり、3年生にとっては最初で最後になるかもしれない公式戦が7月2



一球入魂、全員野球で臨みます

日に行われる不来方高校戦です。選手たちはこの試合に全力を出し、全員野球で臨みます。この記事が皆さんの目に留まるころ、県大会が始まります。平高が県大会に駒を進めていたときは、地域の皆さんの熱い応援をお願いします。



仲の良い先輩と後輩

◆平高野球部の紹介

選手19人、マネージャー4人で活動しています。部活以外でも「野球人」になれるよう意識し、学校生活を送っています。地元出身者が多いチームなので、先輩後輩の仲も良く、明るい雰囲気です。
※「野球人」とは…礼節を大事にし、仲間を大事にし、周囲への感謝の気持ちを大事にし、研究・努力を大事にし、試合では闘争心を持ち勝負に徹すること(野球部訓より)

★平高野球部の魅力は？
小さな学校ですが、大きな学校に勝つこともできるほどチームワークが良いことが魅力です。また挨拶、礼儀、細やかな気配りなどを徹底する

★普段の練習は？
シーズン中はグラウンドで打撃・守備練習で実戦感覚を養うほか、土日を中心に年間70の対外試合をこなし、チーム力向上を図っています。オフシーズン中は室内練習場で打撃練習、格技場で体づくり、体育館で守備練習や敏しように鍛えています。

★中学生の皆さんへ一言
平高には自分自身が成長できる環境が絶対にあります。後輩の皆さん、平高野球部に入部して、一緒に甲子園を目指しましょう。

★夏の大会への意気込みは？
3年間取り組んできたことを出し切り、学校や地域を盛り上げられるような試合をしたいと思えます。応援よろしくお願ひします。

★普段の練習は？
シーズン中はグラウンドで打撃・守備練習で実戦感覚を養うほか、土日を中心に年間70の対外試合をこなし、チーム力向上を図っています。オフシーズン中は室内練習場で打撃練習、格技場で体づくり、体育館で守備練習や敏しように鍛えています。



野球部主将 佐々木瑠我^{りゅうが}さん
(3年：松尾中出身)



昨年、夏の野球選手権岩手大会3回戦対花巻東高校終始笑顔を決やさず、県王者に真っ向勝負を挑んだ



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

平高生が燃えた2日間

◆仲間と臨む、勝利を目指して

体育祭は6月25、26の両日、平高のグラウンドと体育館で開かれました。普段は穏やかな生徒たちですが、この日は熱い気持ちを全面に出して戦いを繰り広げました。

体育祭はクラス対抗で行われ、クラスごとにTシャツをデザインし、団結を表現。いつもはおとなしい級友が、けたたましい声をあげたり、意外な人が運動神経抜群だったり、驚きがあるのも体育祭の面白いところ。初日のクラ



仲間が見つないだバトンを握り全力疾走

ス対抗リレーを皮切りに、男子はソフトボールとバスケットボール、女子はバスケットボールとフットサル、混合種目のバドミントンとバレーボールを2日間で実施。生徒たちは新型コロナウイルス感染防止のため、大きな声援を送ることを控えていましたが、素晴らしいプレーには大きな拍手、ミスには温かな激励を送っていました。選手はシュートやスパイクを決めるたびにガッツポーズをし、体全体で喜びを表現していました。



そろいのTシャツで記念撮影

◆体育祭でクラスの団結を確認

勝利を目指しながら、チームの全員が試合に出場して活躍することも大切にする、平高生らしい熱さと結束を感じる体育祭でした。

★平高での生活
毎日とても充実した学校生活を送っています。学校行事はもちろん、日々の友だちとの会



県の中にさまざまな独創的な模様を描いた力作。ポスターは印刷され、県内の高校などに配布されます。快挙！

★平高を選んだ理由
身近にある高校なので通学しやすく、効率よく勉強できると思ったことと、商業科目を学べる点に興味を持ったことが理由です。平高卒の姉の話聞いて、楽しそうでした。いいなと思っていました。

話や授業の中で笑い合う何でもない時間が最高に楽しいです。これからも1日1日を大切にしていきたいです。
★受賞したときの気持ちは？
受賞したことを聞いたときは、嬉しさよりも驚きが大きいく、正直実感が湧きませんでした。時間が経つにつれて徐々に嬉しさと、努力が実ってよかったという思いが生まれてきたのと同時に、たくさんアドバイスしてくれた佐藤純先生と、くじけそうになった私をいつもそばで励ましてくれた美術部のみんなに感謝の気持ちでいっぱいになりました。ポスターを見た人が楽しい気持ちになってくれればうれしいです。



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

県高等学校総合文化祭
ポスター部門 最優秀賞受賞

伊藤愛香さん(3年:西根中出身)



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

地域とつながる家庭クラブの活動

◆成長の場「家庭クラブ」

家庭クラブは、運動部や文化部の部活動とは異なる「家庭科」の学習をする団体です。家庭科を学ぶ生徒85人(普通科1年生と家政科学科1～3年生)がクラブ員で、会長など12人の役員を中心に活動しています。代表的な奉仕活動は二つあり、一つ目は紫薫枕の製作、二つ目は紫根染の伝統を守る活動です。

6月から8月までクラブ員全員が協力して製作した紫薫枕は、市敬老会で89歳のお祝いとして生徒から直接手渡され、とても喜ばれまし



約250個の紫薫枕を製作

た。生徒が先生になって紫根染を指導する体験教室や小学校への出前授業はいつも好評です。どちらの活動も、生徒は相手の喜ぶ顔を直接見ることができ、やりがいを感じている成長の場となっています。

◆全国家庭クラブ研究発表大会でも活躍

地域や学校の課題解決を図る研究活動にも取り組んでいて、研究内容は全国家庭クラブ研究発表大会で発表しています。平成30年度は紫根染をテーマに最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。本年度は高齢者の健康寿命を延ばす「お元気体操」の紹介やふれあいサロンへの参加など、地域と交流を深めながら研究した内容を発表し、全国家庭科教育協会賞を受賞しました。



間羽松ふれあいサロンと交流

★平高に入学した理由
幼い頃から調理師になるのが夢です。平高では家庭科技術の検定取得ができ、プロの料理人の講習会もあることを知り、高度な調理技術が学べると思い入学しました。

★平高の楽しいところ
友達や先生と協力する機会が多くて楽しいです。コミュニケーションをとり、協力し合って行事をやり遂げたときの達成感がとても大きく、充実しています。

★平高の魅力
思考力・判断力・表現力・



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭クラブ会長
ゆずき
盛内柚城さん
(家政科学科3年:松尾中出身)

協働する力が身に付くことが魅力です。家政科学科では自分たちが考えた内容を人前でプレゼンすることが多く、その過程で自分自身を理解し、勉強する中で自分の夢や進路目標を具体的に考え、近づいていくことができます。

★将来の夢
八幡平市で飲食店を経営することです。そのため、市の観光資源や特産品、自然などについて学んでいます。また市のイベントやボランティアに参加し、地域の人たちとの交流を心掛けています。



食物調理技術検定1級取得に向けて練習に励む盛内さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

就職説明会を開催

◆地元企業から学ぶ

就職説明会は7月29日、2年生42人を対象に平高体育館で開かれ、生徒は地元企業6社の担当者から仕事の内容や社会人としての心構えを学びました。

建設や自動車整備、宿泊、医療など幅広い分野の協力を得て開催した説明会は、内容を前半と後半に分けて実施しました。前半は各分野の企業ごとに仕事内容を紹介。生徒は普段なかなか知ることができない仕事の話に興味津々の様子でした。歯科医院とのオンライン中継では、体育館に居



市内企業担当者による熱心な説明

ながら院内の様子を感じることができ、貴重な体験となりました。

後半は企業担当者がテーマに沿ってパネル討議。仕事をするとはどういうことなのか、大人には何が求められるのか、市内就職のメリットは何かなどを熱く語る担当者の言葉に、生徒たちは身が引き締まる様子で耳を傾けていました。

◆仕事を知る機会を設けられたことに感謝

例年ならばインターンシップ(就業体験)を通じて職業選択の視野を広げますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により延期。市商工会青年部の協力で、就職説明会という形で仕事を知る機会を設けることができました。



オンライン中継も活用

★平高の魅力
先生方は生徒一人一人に親身になって向き合ってくれま
すし、部活動や行事などの活

★学校生活について
とても楽しいです。学習面
でも生活面でも充実した生活
を送ることができています。

★平高に入学したきっかけ
体験入学の際に、明るい校
風の学校だと感じ、将来の目
標をこの学校で見つけていき
たいと思い入学しました。地
元高校のため通学しやすく、
時間を有効的に使って学習で
きるのも魅力でした。

★将来の夢
中学校の先生になりたいで
す。専門の教科をもっと深く
学習し、夢を叶えたいです。

★生徒会長として
平高の良さを再認識しても
らうため、あいさつなど基本
的なことや地域との繋がりを
大切にしたいです。

動は、周りのみんなとの繋が
りを大切にし、協力し合って
行うなど、学校の雰囲気が良い
のが魅力です。生徒数が少
なくても、平高だからこそ私
たちが成長できる環境がある
と実感しています。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



新生徒会長

めぐみ
神田 萌さん

(2年:西根中出身)



平高の生徒を増やすため、生徒会役員と話し合いをする神田さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP: <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

相撲部、県大会を制す

◆大車輪の活躍を見せる

相撲部は9月5日、県営武道館で行われた県高等学校新人相撲大会で快進撃を展開し、団体戦・個人選手権ともに制する圧巻の勝利を見せました。

2年ぶり30度目の優勝を飾った今大会は、団体戦決勝を全勝、個人選手権でも1~3位を独占するまさに独壇場。平高の強さを十分に見せつけま



団体・個人選手権の賞状がそろい踏み

した。相撲部顧問の鈴木裕介先生は「新型コロナウイルス感染症の影響で満足な練習ができず、選手たちには本当

の中でよくモチベーションを維持し、結果につながった」と健闘をたたえました。

◆結果の陰にあるのは積み重ねた努力

相撲部の強さは、毎日の稽古で積み重ねた努力に尽きます。まわし一本で暑さにも寒さにも耐え、顧問やコーチの遠藤良貴さんをはじめ、地域の応援に支えられながら日々精進しています。今年は新型コロナウイルス感性症感染防止のため、練習時間を短縮し、接触の多い「申し合い」や「ぶつかり稽古」を減らして、「てっぽう」や「すり足」といった基礎練習に時間を割きました。地道な努力が生んだ結果です。



稽古で心技体を鍛えます

★学校で頑張っていること
文武両道を目指し、日々頑張っています。武(部活動)に集中すると、もう一方の文(学習)がおろそかになってしまうので両立はとても大変ですが、先輩方の背中を見ながら毎日努力を続けています。

★平高に入学した理由
地元の高校で、強い相撲部があるからです。小学校から取り組んできた相撲を高校でも続けるために必要な環境が平高にあると感じ、入学しました。

★平高の魅力は？
スキー部と相撲部は県スポーツ特別強化指定校に選ばれているので、二つの競技に本気で打ち込みたい人にはピッタリの学校です。他の部も活動が盛んで、部活動を通して技術や人間性を磨き、成長することができると思っています。

★平高の楽しいところ
同じ地元で育った気の置けない仲間がたくさんいるので楽しいです。共通の話題が多く、毎日仲間と盛り上がっています。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



相撲部新主将

松浦 正弥さん

(2年:西根第一中出身)



県高等学校新人相撲大会の個人選手権で対戦相手を突き出す松浦さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

紫薫祭を開催

◆伝統薫る文化祭、大いに盛り上がる

10月25日に平高の文化祭である紫薫祭を開きました。今年度のテーマは「万紫千紅～new lifeでnew style～」。

文字通り、入場制限や来場者の検温と手指消毒の協力を得るなど、コロナ禍での新しい生活様式に対応しての開催となりました。

各部・クラスの企画展のほか、ステージ発表も



聴衆を魅了した吹奏楽部の演奏

魅力のひとつです。吹奏楽部が「鬼滅の刃」のテーマ曲など計5曲を演奏。力強く美しい音色に感動で涙ぐむ保護者の姿もありました。演劇

部は高校生男子二人のよくある日常風景を、小道具に携帯電話のみを使い45分間にわたって熱演。共感を誘う内容や繊細なせりふ回しと自然な演技に、観客は時間を忘れ引き込まれました。

◆新たな名物「熔岩パン!?!」

市の観光資源を発信したいという思いから生まれた「熔岩パン!?!」を初めて紫薫祭で披露しました。焼走り熔岩流をイメージしたパンは、家政科と(特非)そよかぜの家が共同開発。この日販売した200個は、わずか30分で売り切れしました。生徒の思いが詰まった同商品は、道の駅にしねなどの産直施設で販売されています。おいしいので、ぜひご賞味ください。



熔岩のような黒さが印象的

経験して技術を磨いています。

に遠征し、さまざまな大会を

ら2月下旬まで県内外問わず

素晴らしいです。11月中旬か

★平高生活の良いところ

スキーに集中できる環境が

★平高に入学した理由

中学の頃から全国で通用

するスキー選手になりたい

と思っていました。大会の

際、上位で活躍する平高選

手の姿に影響を受けたこと、

スキー部顧問の佐々木洋幸

先生の指導を受けられるこ

との2点が入学の決め手にな

りました。

日本を代表するアルペンス

キーヤーになることです。周

囲のペースにのまらず、冷静

に目の前にある課題を一つ一

つクリアするため、集中力を

保つことを心掛けてオフシー

ズンの練習に励んでいます。

★これからの夢

生徒一人一人が何事にも一

生懸命に取り組み、地域交流

にも積極的に参加しているこ

ろです。しっかりとあいさつ

できることが、明るい学校の

雰囲気につながっていると感

じています。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



スキー部主将

新田 雅人さん

(3年:北上南中出身)



令和元年度全国高等学校スキー大会でスラローム競技10位入賞の新田選手。積極果敢な滑りが持ち味



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

生徒総会を開催

◆体験を糧に次に生かす話し合い

11月4日に「Try something new ! (新しいことに挑戦を!)」をテーマに掲げた秋季生徒総会を開きました。各クラスの代表が今年度のさまざまな学校活動を通して感じた点を全校生徒の前で意見発表しました。



真剣な表情で臨むリーダーたち

意見の多くを占めたのは、例年と異なるコロナ禍での行事体験。規模縮小や内容変更を迫られた数々の行事を振り返り、困難な状況にあっても成功に向けて代替案を考案する諦めない前向

きな姿勢など、現状を打破する方法を模索する大切さを学ぶ機会になったという声がありました。

失敗を恐れずに目標に向かって前進しようと、春に定めた今年度の生徒会根本方針「勇往邁進」。まさしく今年度は伝統を守りながらも変化を続ける平高を実践していたと思います。

◆生徒会が平高PRとして新たなポスターを製作

本当の平高の姿を表現し、市民の皆さんに良いイメージを持ってもらおうと、松本侑子さん(地域おこし協力隊)からアドバイスを受けて新しい平高ポスターを作りました。市内各所に掲示してもらう予定です。



★平高に入学した理由
通学がしやすく、自分の時間を有意義に使えるので平高を選びました。入学後も進路希望ごとのコース分けがあり、就職、進学のどちらにも対応しているのも選んだ理由です。

★平高の楽しいところ
体育祭、文化祭などの成功に向けて、みんなと準備から協力し合って作り上げていく時間が楽しいです。

★平高の魅力は?
生徒一人一人への先生の対応がとても丁寧で、話しやすい関係性ができているところ



囲碁将棋部・生徒会書記長

中軽米 琉星さん

(2年:松尾中出身)

が魅力です。また先輩の多くが市内に就職している実績があり、地元で就職しやすいところも魅力です。

★現在頑張っていること
部活動です。囲碁は戦略性が高く、定石、定型など知識の多さが重要なため、毎日打ち方を考えています。

★将来の夢や目標
進学し、将来は公務員を目指しています。夢をかなえるために日々の勉強を大切にしているほか、英語検定や漢字検定などの取得にも力を入れています。



5月に行われる県高校囲碁大会での上位入賞を目指し、真剣な表情で部員と対局する中軽米さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

家政科学科3年生、授業の総仕上げ

◆学んだ技術を存分に発揮

家政科学科の3年生は1月18日、先生に料理を振る舞う調理実習「感謝の昼食会」を開き、趣向を凝らした料理で目と舌を楽しませました。

同実習では、平高で学んだ3年間の調理技術の集大成として、例年コース料理を振る舞いますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、弁



市産の「おいしい」が詰まった弁当

当に。とはいえ中身は「杜仲茶ポークソテー八幡平山ぶどうジャムソース添え」や雨よけハウレンソウと八幡平マッシュルームが入った「八

幡平の恵みグラタン」などで、彩りにもこだわって完成させました。コース料理に見劣りしない出来栄に、校長先生をはじめ一同感激。味もちろん大満足の仕上がりで、生徒の成長を大きく感じる一日になりました。毎年開かれる感謝の昼食会は、地産地消をモットーに市産食材の利活用を推進しています。

◆見事な出来栄「大漁バンテン」

家政科学科3年生が課題研究の発表会を開きました。家庭クラブ、情報処理、保育、被服のグループに分かれ、同学科1、2年生の前で発表。特に会場を沸かせたのは、被服グループの大漁バンテン。県立博物館学芸員の指導を受け、細部までデザインにこだわって製作しました。



鮮やかで縁起の良いデザイン

コースに在籍していて、栄養

★平高の魅力は？

進路指導が手厚いのが魅力です。生徒数が少ない分、先生方から親身になって相談に乗ってもらえます。私は就職

★学校生活は楽しいですか

楽しいです。3年間無遅刻、無欠席、無早退を続けられるよう、体調管理に気を付けています。

★平高に入学した理由

通学の利便性の良さから家族に勧められ、平高を選びました。時間を有効活用できていると感じています。

★将来の夢は？

栄養士として、八幡平市の健康課題の改善に努めたいです。食育の重要性を広め、子どもの肥満を防止し、生活習慣病を予防するのが目標です。目標に向け、栄養素を学ぶために毎日弁当を作っています。一日に必要な食品を偏りなく入れるのは大変ですが、自己の健康管理にもつながるので充実しています。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！



ソフトテニス部
田村 優佳さん
(3年・西根一中出身)



大好きなソフトテニスに3年間自分が納得するまで打ち込みました(写真左)



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

家庭クラブが4年連続全国大会出場

◆最優秀賞を受賞した手作りマイバッグ

令和2年度の東北ブロック高校家庭クラブ連盟研究発表大会は12月16日、新型コロナウイルス感染対策のためオンラインで開かれ、学校家庭クラブ活動の部で平高が最優秀賞を受賞し、4年連続で全国大会(令和3年7月、徳島県)出場を決めました。

「エコ活、はじめの一步! ~『ならでは』のマイバッグへ続く道~」をテーマに、環境問題に向き合う研究内容を発表。バッグ開発からプラスチックごみの削減を目指すほか、ベルト部分に



色鮮やかに仕上げました

紫根染や地熱蒸気染めを用いるなど、市の特色を生かす内容も評価されました。バッグ自体の使い勝手にも妥協せず、モニターテストとして試作品を市内スーパーの利用客に使ってもらい、サイズを大きくしたり、防水加工を施したりと機能を充実。たくさんの思いを詰め込み完成させました。

◆マイバッグの普及に向けて

「ならでは」のマイバッグは現在、(特非)ポパイの家とまゆみの会の皆さんの協力により商品化に向けた製作活動を進めています。今後、エコバッグ普及推進のため販売する予定ですので、ぜひ、バッグに込められた高校生の思いを感じ、普及の一端を担っていただければと思います。



ポパイの家で作り方を説明

★平高に入学した理由
家政科学科で、調理について詳しく学び技術を向上させたかったこと、保育実習で幼い子たちと触れ合う機会があることから平高を選びました。

★入学したころの目標は
中学校時代は人見知りであるが、話しかけることが苦手だったので、たくさんの人に自分から話しかけ、友だちをつくるよう心掛けました。

★家政科学科の魅力は？
調理や被服の技術が向上するだけでなく、人前で発表する機会が多いため、たくさん



平高 LIFE
平高生活を送る生徒を紹介!

ソフトテニス部
なごさ
竹田 渚さん
(2年:安代中出身)

★将来の夢
市内のホテルや旅館などの接客業に就きたいです。平高に入り、積極的に人と話をする中で、人に接する楽しさや大切さを実感しました。夢を叶えるため、国語や資格取得の勉強に力を入れています。自分に自信を持ち、これから多くのことに挑戦していきたいです。

★将来の夢
人の前で話す力が身に付きます。先生方はフレンドリーで何でも相談できますし、プレゼンテーションの仕方も丁寧に教えてくれます。



調理実習でパプリカとりんごのマリネ作りに取り組む笑顔の竹田さん(左)